

鈴鹿里山-はたけ-街をつなくプロジェクト通信

2011.1 vol.1 発行：NPO 法人鈴鹿循環共生パーティ

人も動物も自然も、お互いに関わり合いながら生きている。現代社会に生まれた私たちは、そのことを自覚できる機会をほとんど失ってしまった。まるで、それぞれが個で存在出来るかのような錯覚の中で生きている。

街で暮らす私たちが、身近にある自然に関わりを持つ必要性を産み出せば、人は無理なく自然に寄り添う方向へむかうはずだ。

「私が自然を知る機会」を取り戻すためのプロジェクト。



プロジェクト1

里山と人をつなぐ



里山プロジェクトの舞台となる鈴鹿市徳居町の里山地域は鈴鹿市の重要生態系地域に指定されるほど沢山の自然を育む豊かな土地である。しかし、現在は里を管理する人もなく、ほとんどの林は鬱そうとしげり、容易に人が入れない状態になっている。

まずこの森を人が入れる状態にするために、専門家の方をお願いして山の手入れが始まっている。

手入れが進めば、この場所を使って人が自然と触れられる企画を年間通じて様々に企画し、この土地の自然を、この土地の人に触れてもらえる機会を用意していく。

活動報告・スケジュール

平成22年

- 11月 里山の活動場所が徳居町に決まる。
- 12月 里山整備開始

平成23年

- 1月 下草刈りなど
- 2月11日 体験企画「図鑑を持って森へ入ろう」
- 3月6日 体験企画「ドラム缶で炭焼き体験」
- 3月21日 体験企画「森にキノコを植えよう」
- 5月5日 間伐など整備
- 6月4日 体験企画「森でお絵かき」
- 6月以降も継続して行う

森と仲よし 里山クラブ

第1回

図鑑を持って森へ入ろう

2011年2月11日

みなさん、冬の森って知っていますか？そこにはどんな木が生えているのかな？どのくらい落ち葉が積もっているかな？鳥や動物や虫たちはどうしているだろう。見つけられるかな？山菜はまだ土のなかかな？図鑑片手に森を歩いてみよう。会場となっている徳居町の里山地域は、鈴鹿市指定の重要生態系地域です。



プロジェクト2

はたけと人とをつなぐ



子どもが育てたサツマイモを収穫



街から歩いて5分の距離で



シニアの生きがいづくりの場として

はたけプロジェクトの舞台となるショッピングセンター・ハンターさんよりお借りした農場は、鈴鹿の街の中心地から徒歩5分の場所にある。

街で暮らす人達が気軽に農に触れることの出来る空間として活用できるように準備を進めている。地元農家の方の協力により、年間通じて様々な野菜作りを行える彩りのある農場へと整備し、「街のはたけ公園」として子どもから大人までが自分にとっての農を体験できる場に発展させていく。

活動報告・スケジュール

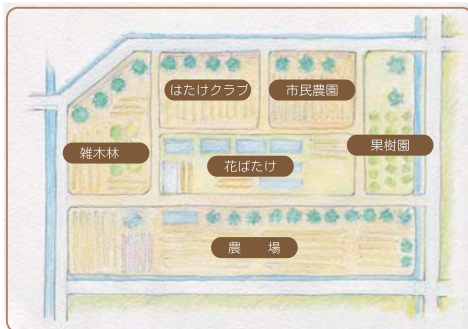
平成22年

- 7月 はたけ公園造成開始
- 8月 溝掘り・伐採
- 9月26日 体験企画「小松菜を植えよう」
- 10月11日 体験企画「サツマイモ収穫」
- 11月3日 体験企画「小松菜収穫」
- 12月23日 体験企画「焼き芋をしよう」

平成23年

- 1月 造成作業
- 3月28日 体験企画「はたけを造ろう」
- 4月29日 体験企画「トマトを植えよう」
- 5月5日 体験企画「段ボールでたい肥を作ろう」
- 6月4日 体験企画「さつまいもを植えよう」
- 6月以降も継続して行う

街のはたけ公園構想図



プロジェクト3

はたけと里山をつなぐ



里山の資源を農地に活用する物の流れを造ることで、人の動きもできる。

その流れを造るために、まずは間伐のために伐採した木々を農場の冬場の暖房として槇ストーブの燃料に利用する準備を進めている。

次に、里山で落ちる落ち葉などで造る腐葉土をはたけ公園の堆肥として活用する計画も進行中である。

協力してくれる農家ですでに使われている



ここの燃料となる木材を間伐材で

プロジェクト4

人とはたけと里山をつなぐ



各種講座を展開していく

ここまであげた三つのプロジェクトを進めながら、それらを体験した人達と共に考える機会、私たちの暮らす自然や環境を次代へと引き継ぐために今何がやれるかを共に考える講座を企画している。

年間通じての体験と座学を通じて、一人一人に「私に出来る自然との関わり」が具体的に実践できることを見いだす取り組みへと発展させていきたい。

講座スケジュール

メインテーマ「**私は地球、**」

足元からの心豊かな街づくり・時代を拓く10回連続チャレンジセミナー

平成23年 4月3日

第一回 『この危機を克服して、新たな社会を作るために』

講師・内藤正明

午後 アクションタイム 春の里山散策 山菜をみつけよう

5月22日

第二回 『現状をどう見るか～最新データを踏まえて～』

講師 内藤正明 浅利美鈴

午後 アクションタイム 段ボール生ごみ堆肥器づくり (1)

(講師 楠部孝誠)

6月19日

第三回 『なぜそんなことになったのか～ (1) 人類とは何か～』

講師 荒田鉄二・内藤正明

午後 アクションタイム ベランダで自給自足? 野菜を植えよう

7月24日

第四回 『なぜそんなことになったのか～ (2) 人類進化の歴史～』

講師 荒田鉄二&内藤正明

午後 アクションタイム ダンボール生ごみ堆肥器の管理と堆肥の扱い (2)

(講師 楠部孝誠)

9月25日

第五回 『“塵類から人類”を目指して～日本や世界各地の取り組み～』

講師 楠部孝誠

午後 アクションタイム 里山散策 どんぐりのポット苗床作り

10月以降も5回開催予定。

鈴鹿里山ーはたけー街をつなぐプロジェクト

主催：NPO法人 鈴鹿循環共生パーティ (SJP)

連絡先：三重県鈴鹿市阿古曾町14-28 TEL&FAX 059-389-6603